

東大病院予防医学センター 脳血管ドック『受診者向けご案内』

<検査の目的>

脳血管ドックは無症状の方を対象に、MRI/MRAによる画像診断により無症候あるいは未発症の脳および脳血管疾患あるいはその危険因子を発見し、それらの発症あるいは進行を予防しようとするものです。主な疾患の対象は下記になります。

- 1) 無症候性脳梗塞
- 2) 脳卒中の危険因子
- 3) 未破裂脳動脈瘤
- 4) 無症候性頭蓋内および頸部血管閉塞・狭窄
- 5) 高次脳機能障害

なお、MRI/MRAは一度の検査で同時に行います。MRIは頭を輪切り状にした断面の画像を描出します。MRAは頭の中の血管の状態を描出します。

<検査対象>

脳血管ドックの積極的な対象は中・高齢者です。特に、脳卒中の家族歴、高血圧、肥満、喫煙などの危険因子を有する方はハイリスク群に相当しますので、積極的な受診が勧められます。

また、MRI/MRAは強力な磁場と電波を使用しますので、次の方々は検査自体を受けることができません。

体内に金属、電子機器、帯磁性埋め込み物、電氣的磁氣的もしくは機械的に作動する体内埋込物などが入っている方

(具体例:心臓ペースメーカー、体内神経刺激装置、体内自動除細動器、人工内耳など)

*** 頭蓋内動脈クリップ、消化管内クリップ、シャント、人工関節、インプラントなどが入っている方は、必ず主治医とご相談の上申し込みください。**

- 2) 妊娠の可能性のある方
- 3) 閉所恐怖症の方

<その他注意点>

検査中は以下のものをはずしていただくことがあります。

- ①コンタクトレンズ(必ず保管容器または予備をご持参ください)
- ②ニトロダームTTSなどの貼付薬
- ③義歯、かつら、金属のついた衣服、アクセサリ、磁気カード、お化粧品。
- ④広範囲に刺青のある方は、鉄分が含まれているので火傷の可能性がありますので、検査当日にお知らせください。

なお、ご不明な点はご遠慮なく予防医学センターまでお問い合わせ下さい。



東京大学医学部附属病院 予防医学センター
お問合せ電話番号(平日9:30~15:30)
03-5800-9033

東京大学医学部附属病院予防医学センター もの忘れ検診のご案内

もの忘れ検診は、脳血管ドックをお申込みの方がご予約できます。
検診希望の場合は、**受診日の1ヶ月前まで**にお電話にて事前にご予約
ください。

・検査の目的

認知症には様々な原因がありますが、初期症状として「もの忘れ」が多くみられます。もの忘れ検診は自覚症状の有無を参考にしつつ、病的なもの忘れがあるかどうかを発見することを目標としています。もの忘れが最近心配な方、親族に認知症と診断されている方がいらっしゃる方に受診をおすすめします。

・検査の内容

- ① 早期認知症の有無を発見する標準的な検査
- ② 記憶の障害を詳細に検討する検査
所要時間は30分程度です。



・検査の限界

もの忘れ検診のみでは最終的な認知症の診断まではできません。検診の結果病的なもの忘れが疑われた場合や、軽いもの忘れがあり病的かどうかの判断が困難な場合には、専門外来の受診による詳しい検査をおすすめする場合があります。

また、検査の時点で正常と判断されても、将来にわたり認知症にならないことを保証するものではありません。

・受診に際する注意

聴力、視力に問題のある方、日本語が母国語でない方は検査ができない場合がありますので、予防医学センターまであらかじめご相談ください。

東京大学医学部附属病院 予防医学センター
東京大学医学部附属病院 神経内科